

社会医療法人 孝仁会

心臓血管センター北海道大野病院

Cardio Vascular Center Hokkaido Ohno Hospital News Letter

医療機関向け広報誌



CONTENTS

- P.2～P.3 社会医療法人 孝仁会 理事長・副理事長よりごあいさつ
- P.4～P.5 北海道大野病院 医師紹介・新任医師よりごあいさつ
- P.6～P.7 専門外来のご案内 『不整脈外来』『糖尿病・内科外来』
 - P.8 診療について新着情報 『エキシマレーザー治療』
 - P.9 Close-up 『ステントグラフト手術』『3D超音波診断装置』
- P.10 ZOOM IN 『山岳外来』
- P.11 外来担当医師一覧
- P.12 孝仁会グループ一覧

Sept. 2014
vol.7

理事長より ごあいさつ



社会医療法人 孝仁会
理事長

さいとう こうじ
齋藤 孝次

心臓血管センター北海道大野病院は、循環器内科、心臓血管外科を中心に急性期の医療を提供しており、365日24時間救急にも対応できる体制を整備、地域住民の皆様の期待に応えるべく、職員一同、日々研鑽に励んでおります。

また、予防医療にも力を入れ、人間ドック、心臓ドックを行っております。とりわけ、心臓ドックは急性心筋梗塞による突然死の予防にも大きく貢献します。私たちの周りにも今まで元気だった人が急性心筋梗塞で突然死することがあります。私は医療に携わる者として、心臓ドックを受けていれば助かったのに、と非常に残念に思うことがあります。

今、循環器医療の分野はどんどん進化しており、当院でも最先端の医療機器の整備を進め、本年6月からエキシマレーザーによる治療を開始するほか、7月には高性能なX線血管撮影装置を備えたハイブリッド手術室を稼働させ、それらを駆使する多くの専門医によって、複雑な病変に対してより安全な治療にあたっています。

また、コメディカルの職員も含め、それぞれ専門的な知識・技術を習得し、新たな治療法の導入や質の高い医療の提供など、皆様のご期待に応えることができるよう鋭意研鑽を進めております。

心臓血管センター北海道大野病院は、地域の他の医療機関と連携し、地域の住民の皆様が安心して暮らせるよう、努力してまいります。

副理事長より ごあいさつ



社会医療法人 孝仁会
副理事長

心臓血管センター
北海道大野病院 院長

おお の たけ み
大野 猛三

本年5月22日に「社会医療法人社団碩心会」と「社会医療法人孝仁会」が合併し、法人名は「孝仁会」に統一されました。「心臓血管センター北海道大野病院」を代表して、ご挨拶させていただきます。

1987年9月に「北海道大野病院」として、札幌市西区に開院しました。そのときの私の思いは、成人を中心に循環器、呼吸器、消化器疾患を内科外科両面からアプローチできる病院にすることと、北海道の心臓外科手術の大きな拠点になり、医療人に信頼される病院になろうとのことでした。

1994年に「医療法人社団碩心会北海道大野病院」として法人化しました。「碩心会」の碩は、“大きく”、“心広く”などの意味合いがあります。患者さまだけでなく、すべての人に心広くあってほしいとの思いで「碩心会」と命名しました。今回の合併で「碩心会」の文字はなくなりますが、その意味合いをご理解いただけたものと思います。

1997年に「心臓血管センター北海道大野病院」としてセンターの名称を厚労省より認められました。頭に「心臓血管センター」を名乗るのを認められたのは「心臓血管センター榊原記念病院」に次ぐものです。10年間の循環器領域における仕事を国が認めてくれたご褒美と思っています。

2000年に「特定医療法人社団碩心会」として厚労省、国税庁より認可されました。開院4年目で北海道で開心術が最も多くなり、10年目では冠動脈バイパス術が日本で最も多くなりました。その経過の中で、病院の存在意義を感じながら次世代への継承を思い描いていました。

医療行政の変革の中で、2か所のサテライトクリニック「北海道大野病院駅前クリニック」「北海道大野病院はまや循環器クリニック」の開設。7対1看護体制の構築、日本病院評価機構の認定、DPC対象病院の認定などを得ながら、2012年「社会医療法人社団碩心会」として北海道より認可されました。

新病院構想は数年前から持っていましたが、札幌市の西区で開院して27年、西区から離れることは考えられませんでした。そのような中で、齋藤理事長と今後の医療行政や、急性期民間病院の方向性などの話をさせていただき、地域完結型包括ケアシステムの構築をしていくために合併ということになりました。

新病院は今のところ2016年秋の開院予定ですが、そのコンセプトは、心臓・がん・脳に運動器疾患を加えた急性期の医療と予防医療を提供し、地域の医療機関や介護施設と協力し、シームレスな医療福祉介護サービスの一翼を担う事です。この合併が患者さまのみならず、北海道の医療に貢献できるよう、職員一丸となって取り組んでまいります。今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

心臓血管外科・外科



副理事長・院長
大野 猛三



顧問・名誉院長
数井 暉久



顧問・名誉院長
杉木 健司



副院長
大川 洋平



心臓血管外科主任部長
野村 文一



医長
鈴木 正人



医長
安達 昭



医師
坂上 直子

循環器内科・内科



副院長
山下 武廣



内科診療部長
森田 亨



循環器内科主任医長
長島 雅人



医長
齋藤 泰史



医長
岩切 直樹



医師
中川 俊昭



医師
前野 大志



医師
今井 斎博

内科



内科主任部長
尾形 仁子



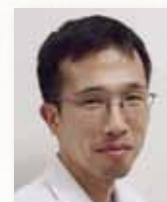
総合診療科主任医長
田中 久史



消化器内科主任部長
後藤 賢一郎



医師
三品 壽雄



医師
入宇田 能弥

総合診療科

消化器科

消化器科・呼吸器科

糖尿病・内科

麻酔科



麻酔科主任部長
原澤 克已



麻酔科部長
坂本 浩



医師
秋山 麻紀

駅前クリニック

はまや循環器クリニック



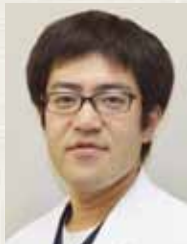
院長
古口 健一



院長
浜谷 秀宏

新任医師よりごあいさつ

不整脈・循環器内科・内科



なが ぼり わたる
医師 長 堀 亘

北海道砂川市出身
京都大学医学部卒

4月より当院に赴任いたしました循環器内科医師の長堀亘と申します。

京都大学医学部卒業後、岡山県の倉敷中央病院 内科にて研修。その後、千葉県の亀田総合病院に勤務し、2008年より循環器内科医長を務めさせていただきました。その間、日本循環器学会専門医および日本不整脈学会日本心電学会認定不整脈専門医の資格を取得いたしました。

当院の外来診療では、循環器内科・内科および不整脈外来を担当しております。不整脈の患者さまは増加傾向にありますが、その種類・治療法はさまざまで、ひとり一人の症状に合わせた治療法の選択が必要です。当科では薬物療法、外科手術に加え、4月よりカテーテルアブレーションの施行を開始しました。今後とも、良質で安全な医療の提供に努める所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。

循環器内科・内科



おぐま やす のり
医師 小 熊 康 教

北海道札幌市出身
秋田大学医学部卒

循環器内科医師の小熊康教と申します。

2002年に秋田大学医学部を卒業。その後、本荘第一病院循環器科医員、山本組合病院循環器科医長を経て2010年から秋田大学大学院医学系研究科循環器内科学分野 助教として勤務してきました。血行動態管理に興味があり、末梢動脈疾患に対する治療が中心血圧を改善させること等の臨床研究も行っていました。

さらに循環器内科医としての経験を深めたく、カテーテル治療件数・内容の充実した医療施設を希望し、本年4月より当院に勤務しております。ロータブレーター、エキシマレーザー治療などの認定施設である当院で、ハイレベルな治療を安定供給できるよう、思考力・技術の向上に励む毎日です。患者さまには可能な限り時間を取り、治療の必要性や治療結果等をお話するよう心がけています。将来的には高血圧治療を中心とした予防医学に力を注いでいきたい所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。

循環器内科・内科



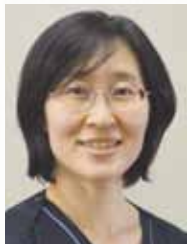
くれ ばやし えい こ
医師 呉 林 英 悟

福井県小浜市出身
福井大学医学部卒

はじめまして。循環器内科医師の呉林英悟と申します。福井大学医学部在学中に循環器医師を志し、石川県の金沢城北病院で初期研修を行い、その後、長野中央病院に3年間勤務。総合病院で幅広い症例を経験したのち、循環器医師として専門性を身につけたいと、本年4月より当院の循環器内科・内科に籍置き、最新の知識・技術の習得に励んでおります。

心臓・循環器は命に直結した分野であり、デバイスの進化とともに内科医師にも外科的な手技の習熟が求められます。当院は外科と内科が効率良く連携しており、カテーテル治療やステントグラフト内挿術など、それぞれの先生方の得意分野から学び、臨床医としての経験値を増やすのに最適な環境と言えます。高齢化により重篤な症例も増加する中、患者さまやご家族の前では心理的な負担を与えないよう、できるだけリラックスした雰囲気作りを心がけております。どうぞよろしくお願いいたします。

麻酔科



やまざき ゆ み こ
医師 山 崎 由 美 子

東京都杉並区出身
北海道大学医学部卒

麻酔科医師の山崎由美子と申します。

北海道大学医学部卒業後、同大学病院の侵襲制御医学講座に入局。砂川市立病院、手稲溪仁会病院など主に道内の総合病院で広く臨床麻酔に携わってまいりました。もともと心臓血管の分野に興味があり、その専門病院である北海道立北見病院では、外科医師、臨床工学技士、看護師とともにチーム医療の一翼を担うことに大きなやりがいを感じました。その後、JB-POT(日本周術期経食道心エコー委員会)認定医、および日本心臓血管麻酔学会専門医の資格を取得したこともあり、さらこの分野に精通したく、心臓血管手術件数の多い病院を希望し、4月より当院に勤務しております。今後とも、患者さまには術前から術後まで思いやりを持って接し、手術中は執刀医師が術野に専念できるよう、安全で質の高い麻酔管理を提供してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

専門外来のご案内

2014年4月よりカテーテルアブレーション治療を施行

『不整脈外来』のご紹介

不整脈治療のすべての領域をカバー

■不整脈は、突然死に至る心室細動から、治療の不要なものまで、その種類はさまざまです。当院の不整脈外来では、あらゆる症状の不整脈に対応すべく、抗不整脈薬、ペースメーカー植え込み術、除細動器(ICD)植え込みなどの治療を提供しておりますが、2014年4月よりカテーテルアブレーションの施行を開始。これにより、不整脈治療のほぼ全ての領域をカバーできる体制が整いました。

低侵襲かつ根治が可能。 カテーテルアブレーションのメリット



カテーテルアブレーション治療

■カテーテルアブレーションは、不整脈を起こす発生源に、電流を流して焼き切る(焼灼)治療法です。脚の付け根からカテーテルを挿入し、心臓まで届け、カテーテルから得られる心電図やX線画像をもとに、不整脈の原因部位を探します。部位を特定したのち、カテーテルの先端から高周波電流を流し、その部分を焼灼して断ち切ります。

■カテーテルアブレーションの最大の利点は根治率が高いことです。「発作性上室性頻拍症」「心房粗動」「心室性期外収縮」「心室頻拍」に効果を発揮し、心房細動の治療にも応用されています。検査と治療が同時に行え、体に傷が残りません。合併症や再発のケース、患者さまの状態によっては適用されない場合もありますが、数日の入院後は、早期に社会生活への復帰が可能となります。アブレーション治療後は、すみやかにかかりつけの先生方に引き継いでいただけます。



不整脈外来担当医師

なが ほり わたる
長堀 亘

2001年京都大学医学部卒。
倉敷中央病院、亀田総合病院などを経て2014年4月より現職。
日本不整脈学会 日本心電学会認定不整脈専門医。

患者さまの利益と安全を最優先に

■近年は、高齢化や心臓・血管の疾患増加に伴い、不整脈の患者さまも増加傾向にあります。当院の不整脈外来では専門医による確実な診断のもと、患者さまの症状にあった治療を選択し、安全性を最優先に診療を行っております。薬物治療から根治治療を希望される患者さまはもちろん、不整脈でお困りの患者さまがいましたら、ぜひ当科までご紹介ください。

FAXによる 紹介患者さまの 予約方法

- ①ご予約は当院・地域連携室にて承っております。診療情報提供書を当院地域連携室宛てにFAXでいただきますと、20分以内に予約を確定してFAXで返信いたします。(予約確認票)
- ②患者さまへ予約内容をお伝えください。その際、予約確認票もお渡しください。
- ③患者さまが受診されますと受診の報告をFAXで送信いたします。
- ④後日、診療情報提供書にて、経過・結果をご報告いたします。

専門外来のご案内

2014年3月より開設

『糖尿病・内科外来』のご紹介

生活の質を大切に

■今年3月、当院に「糖尿病・内科外来」が新規開設されました。

糖尿病患者は年々増加しており、コントロールの悪化から重大な合併症をかかえる方も多くなっています。

糖尿病・内科外来では、患者さま一人ひとりの生活パターンをできるだけ詳細に確認させていただき、適切な治療を相談し、糖尿病の治療目標「健康な人と変わらない日常生活の質の維持、健康な人と変わらない寿命の確保」を達成できるように診療を行っております。

指導は細やかに。 合併症への対応は迅速に

■食事指導は管理栄養士とも協力しながら、従来のエネルギー制限による指導の他、症例によって糖質制限、基礎・応用力ーボカウントなどを指導させていただいています。運動療法も、生活状況やQOLを判断し、達成できるような内容を相談させていただきます。

薬物療法は、必要な症例には自己注射導入も積極的に行っており、頻回の通院や入院ができない方は外来自己注射導入、症例により電話などでのフォローも行い、できるだけ負担の少ない、短時間で改善できるような診療を行っています。

■合併症については、網膜症は近隣の眼科と連携し定期的な検査を受けていただくよう指導、冠動脈疾患については当院循環器内科・心臓血管外科とも連携し、早急な対応につとめています。

外来でのコントロールが困難な症例は入院での管理をさせていただくこともあります。改めての糖尿病経過の確認・合併症の評価・生活指導を行っており、指導は医師からの個別指導も行わせていただいています。

地域に役立つ 「糖尿病・内科外来」をめざして



糖尿病・内科外来
担当医師

いりうだ よしひろ
入宇田 能弥

2000年旭川医科大学卒。
北海道社会保険病院などを経て2014年3月より現職。
日本糖尿病学会糖尿病専門医・指導医。

■現在当科は、外来での生活習慣病教室開催に向けて準備を進めております。当院に通院していない方も参加いただけるようにしたいと考えていますので、ご興味のある方がいらっしゃいましたら、参加をお勧めいただければ幸いです。

また、地域の先生方に広くご活用いただきたく、当院での外来管理、入院での血糖コントロール、糖尿病急性合併症やその他の急性疾患での入院相談など、糖尿病に関するご相談も承っております。地域連携室経由・もしくは代表電話にて直接ご連絡ください。

送信して

地域連携室
直通FAX番号

FAX. 011-665-0123 [平日/8時45分~17時15分
土曜日/8時45分~12時30分]

※緊急時は代表電話へ直接連絡をお願いいたします。 ☎011-665-0020

■詳しくは病院ホームページをご覧ください。▶ URL. <http://www.cvc-ohno.or.jp>

2014年6月よりエキシマレーザー冠動脈形成術を施行

『エキシマレーザー治療』のご紹介

新たなカテーテル治療

■冠動脈治療の成功率は一般的に約98%と言われています。しかしながら約10%の方々は再び動脈硬化が進行し「再狭窄」してしまいます。そのような再狭窄を繰り返す動脈硬化に対しての治療法として「エキシマレーザー冠動脈形成術 (ELCA: ExcimerLaser Coronary Angioplasty)」が注目されています。この治療は、平成24年4月に新規で保険償還が認められ、同時に治療を行うための施設基準が新たに設けられました。当院では本年6月よりエキシマレーザー装置を導入し治療を開始しました。

エキシマレーザー冠動脈形成術【ELCA】

■エキシマレーザー冠動脈形成術 (ELCA) とは、冠動脈に挿入されたカテーテルの先端から照射されるエキシマレーザーによって、閉塞した血管を開通させるという治療方法です。このエキシマレーザーは、熱による組織除去に頼った波長の長いレーザーとは異なりクールレーザーとも呼ばれ、生体組織に熱損傷をおこしにくく、熱による血液凝固の影響で血栓が出来ることもないことから、安全性の高いものとされています。

■エキシマレーザー冠動脈形成術は、通常の冠動脈治療が困難な慢性完全閉塞、分岐病変、急性心筋梗塞などの血栓性病変、ステント内再狭窄など、従来のバルーンを使用する治療に比べて安全性が高いといわれています。

主な適応事例

(適応：PTCA 困難症例)

- ステント内再狭窄病変
- 急性心筋梗塞症例
- バルーン治療の不成功病変
(バルーン拡張不足・バルーン不通過など)
- 変性バイパスグラフト病変
- 入口部病変
- 中等度の石灰化病変
- 長い病変
- バルーン不通過のCTO病変

エキシマレーザー冠動脈形成術プロセス



1. ガイドワイヤーを通じてレーザーカテーテルを病変部に導入



2. エキシマレーザーを照射



3. 病変部をすべて蒸散し、元の状態に戻った血管内部



当院で導入した Excimer Laser Unit CVX-300-P



X線不透過ライン
ガイドワイヤールーメン
光ファイバー

当院における低侵襲治療のご紹介

大動脈瘤に対する ステントグラフト手術

過去30年以上にわたり、腹部大動脈瘤および胸部大動脈瘤に対しては、open surgeryによる人工血管置換術が行われてきました。このopen surgeryによる手術成績は徐々に向上してきましたが、種々の合併症を有する患者さまや、超高齢の患者さまのために、さらなる挑戦を要するものでありました。

欧米では1990年代後半～2000年代前半より、大動脈瘤に対する低侵襲治療として、ステントグラフト治療が本格的に導入されました。本邦では2007年より腹部大動脈企業製ステントグラフトが認可され、2008年より胸部大動脈企業製ステントグラフトが認可されました。当院では、2009年より腹部大動脈に対し、2012年より胸部大動脈に対しステントグラフト治療を開始しております。

手術創は鼠径部に3～4cmの斜切開のみで、手術時間は約2時間です。翌日朝から食事歩行も可能で、手術から退院まで1週間程度です。昨年の最高齢は94歳でしたが、ADLを下げることなく退院されています。2013年の1年間では、胸部および腹部合わせて約40症例のステントグラフト治療を行いました。治療成績は大変良好です。

ただ、すべてステントグラフトが可能というわけではなく、解剖学的に不適切な場合があります。また長期遠隔成績はまだ不明な点があります。当科では、個々の患者さまそれぞれに最適と思われる手術方法を丁寧に説明した上で、治療を行っております。

北海道大野病院
心臓血管外科 医師

すずき まさと
鈴木 正人



血管の内側から、バネ付きの人工血管をあてがう

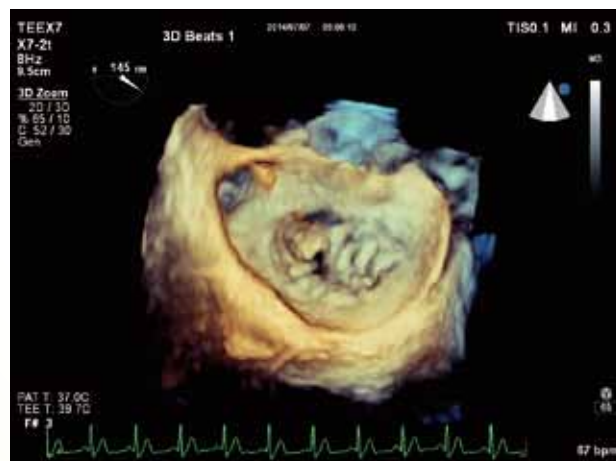
生理検査室より最新 超音波診断装置のご紹介

PHILIPS社製 EPIQ7Cを導入 3D画像をリアルタイムに表示

当院生理検査室では9名の検査技師が所属し、心臓、腹部、全身の血管エコー、心電図、ABI検査等を行っています。循環器疾患の診断に欠かせない心エコー図検査は年間12,000件、経食道心エコー図検査も215件行っています。

中でも今年7月より、3Dによる画像診断が可能であり、道内では3台しか導入されていないPHILIPS社製EPIQ7Cを導入いたしました。

エコー検査はリアルタイムで心臓の動きや弁の状態を観察することができ、特に弁膜症の診断や重症度判定には不可欠な検査ですが、2D画像のみでは心臓のある断面の画像しか提示できず、主治医や患者さまにわかりやすく伝えることが困難でした。3D心エコー機器の導入により、弁全体の様子を立体的に提示することが可能になり、手術を行う外科医に術野と同じ画像を提示し、正確な情報共有を測ることができるようになっています。経食道3D心エコー図検査を行うことで、事前に詳細な術式を検討したり、患者さまに病気の状態をわかりやすく説明し、理解していただくことができる全く新しいエコーの診断ツールとなっています。



僧帽弁逸脱症（術野からと同じ画像）

山岳外来

山を愛し、山に関わるすべての人に

北海道大野病院と駅前クリニックには、専門外来のひとつ『山岳外来』があります。開設の趣旨や診療内容について担当医の大城和恵医師をご紹介します。

現在日本では登山やクライミングなど山岳スポーツを楽しむ機会が一般的になりつつあります。それと比例して山での事故も増加するなか、医療の面から山での安全な活動を支援したいと想い、2010年に日本人で初めて認定国際山岳医の資格を取得致しました。以来、当院で「山岳外来」を開設し、診療・検診を行っております。

山で一番多いのは転倒滑落による外傷ですが、病気の中では主に心筋梗塞からなる心臓突然死が最も多く、中高年の方に多いのが特徴です。心臓突然死は、どんなに救助隊が早く駆けつけても助かる事は非常に難しく、その予防として事前の対策が重要となります。登山では脱水症ひとつとっても、非常に怖い病気であり、最初は軽い脱水症だと思っていた人が、山でビバーク(野営)をした次の日に腎不全となって、緊急透析を受けたというケースもあります。このように、最初は非常に軽い症状でも放置すると命を落とす病気につながる場合があるのです。

山岳外来では、山で起こりうる病気・ケガの予防策として、登山者自身が身体管理を行うことができるよう、メディカルアドバイスを中心に行っております。また、登山者検診においては、より専門性の高い検査をもとに、病気のある方には現存するリスク、ない方には潜在するリスクを評価し、登山に伴うリスクを減らす為のアドバイスをしております。山に関わる皆さまの登山をより安全にするための事前検診をお勧めしておりますので、ぜひ「登山者検診」「山岳外来」をご利用ください。

今後とも登山者はじめ、レスキュー活動、山岳ガイドなど、山岳活動に関わるすべての方を対象に、医療の面からお手伝いをさせていただき、山岳医療の普及・発展に尽力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

国際山岳医 循環器内科

おおしろ かずえ
大城 和恵 医師



大城 和恵 プロフィール

- 1967年 長野県生。日本大学医学部卒業。医学博士。
- 2002年 札幌へ移転。北海道大野病院に勤務。
- 2010年 英国にて日本人初「UIAA/ICAR/ISMM 認定 国際山岳医」取得。
「山岳医療情報」を開設し国際基準を公開。
北海道大野病院・駅前クリニックにて『山岳外来』を新設。
- 2011年 北海道警察山岳遭難救助アドバイザーに就任し国内初山岳救助への医療導入制度を実現。

主な海外山行歴

- 1998年、2011年 キリマンジャロ登頂。
- 2009年 マッターホルン、シャルドネ、タキュールなど。
- 2010年 マッキンリー山頂よりスキー滑降。
- 2013年 チームドクターとして三浦雄一郎氏エベレスト世界最高齢登頂遠征に同行。
チームドクターとしてマナスル登頂。

「山岳医療情報」運営 URL: <http://www.sangakui.jp>

山岳外来

■診療内容

登山者検診 ●血液検査、心電図、心エコー、肺機能、運動負荷検査、医師との面接など

メディカルアドバイス ●必要な救急用品、常備薬、現地の衛生や感染症のアドバイス
●高山病、高地肺水腫、脳浮腫、凍傷などの予防と対処など

■実施施設・実施日

北海道大野病院附属駅前クリニック 毎月第2月曜
札幌市北区北8条西3丁目28番 札幌エルプラザ6F TEL.011-728-0020

心臓血管センター北海道大野病院 登山者検診のみ実施 毎月第2金曜 午後
札幌市西区西野4条1丁目1-30 TEL.011-665-0020

※いずれも予約制となっております。
山岳外来受診と登山者検診を希望される患者さまがおりましたら、北海道大野病院(TEL.011-665-0020)までご連絡ください。

外来担当医師一覧

[受付時間] 午前8:45~11:45 午後13:00~16:30

2014年9月1日現在

			月	火	水	木	金	土
外 来	心臓血管外科・外科 (予約制)	午前	院長 大野 猛三	野村 文一	鈴木 正人	安達 昭	大川 洋平	毎週交代制
		午後	名誉院長 数井 暉久 名誉院長 杉木 健司	名誉院長 杉木 健司	名誉院長 数井 暉久		院長 大野 猛三	
	循環器内科・内科 (大城医師のみ予約制)	午前	齋藤 泰史 山田 聡 長堀 亘	中川 俊昭 前野 大志 大城 和恵 (毎月第2週)	森田 亨 前野 大志 小熊 康教 大城 和恵 (毎月第2週)	三山 博史 今井 斎博	森田 亨 石森 直樹 小熊 康教 大城 和恵 (毎月第2週)	毎週交代制
		午後	山下 武廣 長島 雅人 呉林 英悟	齋藤 泰史 今井 斎博 長堀 亘 大城 和恵 (毎月第2週)	中川 俊昭 長島 雅人 岩切 直樹 大城 和恵 (毎月第2週)	山下 武廣 呉林 英悟 三山 博史 大城 和恵 (毎月第2週)	岩切 直樹 石森 直樹	
	総合診療科 (予約制)	午後		田中 久史	田中 久史			
	消化器科 (予約制)	午前	三品 壽雄	三品 壽雄	三品 壽雄	後藤 賢一郎	後藤 賢一郎	後藤 賢一郎 (毎月第1・3・5週) 三品 壽雄 (毎月第2・4週)
		午後					本原 敏司 (毎月第1週13~16時)	
	呼吸器科	午前	三品 壽雄 宮島 さつき (札幌大第三内科)	三品 壽雄	三品 壽雄	亀田 優美 (札幌大第三内科)		三品 壽雄 (毎月第2・4週)
		午後	宮島 さつき (札幌大第三内科)			亀田 優美 (札幌大第三内科)		
専 門 外 来	末梢血管外来 (予約制)	午前	院長 大野 猛三					
		午後					院長 大野 猛三	
	ペースメーカー外来 (予約制)	午後	名誉院長 杉木 健司 (毎月第2・4週)					
	大動脈疾患 ステントグラフト外来 (予約制)	午前			鈴木 正人			
	糖尿病・内科外来 (予約制)	午前		入宇田 能弥		入宇田 能弥		入宇田 能弥 (毎月第1・3週)
		午後					入宇田 能弥	
	糖尿病・腎臓内科外来 (予約制)	午後	和田 比呂恵		山地 泉 (13時30分~)			
	禁煙外来 (予約制)	午前	三品 壽雄	三品 壽雄 大城 和恵 (毎月第2週)	三品 壽雄 大城 和恵 (毎月第2週)		大城 和恵 (毎月第2週)	
		午後		大城 和恵 (毎月第2週)	大城 和恵 (毎月第2週)	大城 和恵 (毎月第2週)		
	睡眠時無呼吸外来 (予約制)	午前		大城 和恵 (毎月第2週)				
		午後		大城 和恵 (毎月第2週)		尾形 仁子 (毎月第2・3・4・5週) 三品 壽雄 (毎月第1・3・4・5週) 大城 和恵 (毎月第2週)		
	不整脈外来	午前	長堀 亘			三山 博史		長堀 亘 (毎月第2・4週、予約制)
		午後		長堀 亘		三山 博史		

■手術などの都合により変更になる場合は代理の医師が担当いたします。

北海道大野病院 ニュースレター第7号 2014年9月発行

発行者 社会医療法人 孝仁会
心臓血管センター北海道大野病院 地域連携室
〒063-0034 札幌市西区西野4条1丁目1番30号

お問い合わせ TEL / 011-665-0020 FAX / 011-665-0242
URL <http://www.cvc-ohno.or.jp>

サテライトクリニック

北海道大野病院附属 駅前クリニック
〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目28 札幌エルプラザビル6F TEL / 011-728-0020

北海道大野病院附属 はまや循環器クリニック
〒062-0020 札幌市豊平区月寒中央通7丁目6-20 JAM月寒中央ターミナルビル5F TEL / 011-857-2666

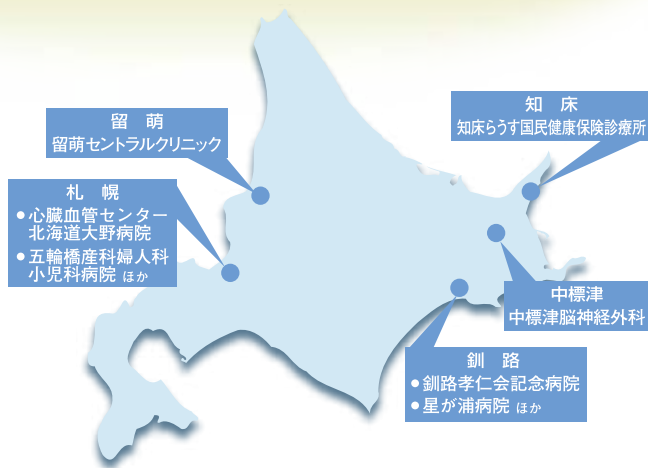
在宅療養

心臓血管センター北海道大野病院 訪問看護ステーション
〒063-0034 札幌市西区西野4条1丁目1-30 TEL / 011-666-5150

心臓血管センター北海道大野病院 居宅介護支援事業所
〒063-0034 札幌市西区西野4条1丁目1-30 TEL / 011-666-6620

思いやりと笑顔あふれる病院・施設をめざして

孝仁会グループ



社会医療法人 孝仁会

釧路孝仁会記念病院

釧路市愛国191番212
TEL.0154-39-1222

中標津脳神経外科

中標津町西11条南8-4-1
TEL.0153-73-1500

知床らうす国民健康保険診療所

目梨郡羅臼町栄町100番地83
TEL.0153-87-2116

介護付有料老人ホームはまなす芦野館

釧路市芦野1-27-1
TEL.0154-39-1666

知床らうす通所リハビリセンター

目梨郡羅臼町栄町100番地83
TEL.0153-87-3147

芦野ケアプラン企画センター

釧路市釧路町睦2-1-5
TEL.0154-37-5050

留萌セントラルクリニック

留萌市栄町1-5-12
TEL.0164-43-9500

老人保健施設星が浦

釧路市星が浦大通3-9-35
TEL.0154-55-2800

介護付有料老人ホームはまなす睦館

釧路市釧路町睦2-1-6
TEL.0154-39-0511

ヘルパーステーションはまなす

釧路市星が浦大通3-9-26
TEL.0154-52-8088

留萌セントラルクリニック 通所リハビリテーション

留萌市栄町1-5-26
TEL.0164-43-9555

鶴ヶ岱ケアプラン企画センター

釧路市鶴ヶ岱1-10-46
TEL.0154-42-0700

星が浦病院

釧路市星が浦大通3-9-13
TEL.0154-54-2500

グループホームはまなすの家星が浦

釧路市星が浦大通3-9-9
TEL.0154-55-6255

訪問看護ステーションはまなす

釧路市星が浦大通3-9-26
TEL.0154-53-5517

釧路訪問リハビリセンター

釧路市芦野1-27-1
TEL.0154-37-5401

ケアスタジオ住吉

釧路市住吉2丁目3-10
TEL.0154-65-6544

愛国ケアプラン企画センター

釧路市愛国191-5065
TEL.0154-39-1231

釧路脳神経外科

釧路市芦野1-27-1
TEL.0154-37-5512

グループホームノエル

留萌市栄町1-5-26
TEL.0164-43-9577

留萌訪問看護ステーションサンタ

留萌市栄町1-5-12
TEL.0164-43-9111

釧路脳神経外科デイケアセンター

釧路市芦野1-27-1
TEL.0154-37-8898

釧路市東部北地域包括支援センター

釧路市鶴ヶ岱1-10-46
TEL.0154-42-0600

居宅介護支援事業所根室

根室市明治町1-2-2
TEL.0153-24-8873

新しくろクリニック

釧路市釧路町睦2-1-6
TEL.0154-37-6333

グループホーム根室

根室市明治町1-2-2
TEL.0153-24-8788

訪問看護ステーション根室

根室市明治町1-2-2
TEL.0153-24-8562

デイサービスセンター根室

根室市明治町1-2-2
TEL.0153-24-8555

星が浦ケアプラン企画センター

釧路市星が浦大通3-9-35
TEL.0154-55-2810

留萌居宅介護支援事業所 サンタ

留萌市栄町1-5-26
TEL.0164-43-9777

釧路孝仁会看護専門学校

釧路市愛国191番212
TEL.0154-39-1230

心臓血管センター北海道大野病院

札幌市西区西野4条1丁目1-30
TEL.011-665-0020

北海道大野病院附属駅前クリニック

札幌市北区北8条西3丁目28 札幌エルプラザビル6F
TEL.011-728-0020

北海道大野病院附属 はまや循環器クリニック

札幌市豊平区月寒中央通7丁目6-20
JA月寒中央ターミナルビル5F
TEL.011-857-2666

心臓血管センター北海道大野病院 訪問看護ステーション

札幌市西区西野4条1丁目1-30
TEL.011-666-5150

心臓血管センター北海道大野病院 居宅介護支援事業所

札幌市西区西野4条1丁目1-30
TEL.011-666-6620

五輪橋産科婦人科小児科病院

札幌市南区川沿2条1丁目2-55
TEL.011-571-3110

医療法人 札幌第一病院

札幌第一病院

札幌市西区二十四軒4条3丁目4-26
TEL.011-611-6201

社会福祉法人 孝仁会

特別養護老人ホームさんれんかの里

釧路市愛国191番5711
TEL.0154-38-8222

特別養護老人ホームえぞりんどうの里

釧路市音別町中園2丁目118番5
TEL.01547-9-5011

特別養護老人ホーム清和園

白糠郡白糠町和天別139-1
TEL.01547-2-3200

グループホームななかまどの里

白糠郡白糠町西麻路西1条南3丁目3-10
TEL.01547-6-0150

地域密着型特別養護老人ホーム湿原の里

釧路市愛国191番5746
TEL.0154-64-1200

介護付有料老人ホーム悠和館

釧路市愛国191番5747
TEL.0154-64-1311

<http://www.kojinkai.or.jp>